

目的とねらい

植物の不思議と魅力について四季折々の生きる工夫や戦略、なぜ？を京都府立植物園名誉園長・松谷茂先生（京都府立大学客員教授）や、植物園ガイドさんの解説で園内の見どころを案内します。新しい発見があり、植物を觀賞する視点も変わり、何度でも行ってみたいくなることでしょう。

会場

京都府立植物園・植物園会館前
植物園正門から東へ約50m

受講料

入園料200円（年間パスポートは1,000円）
温室觀覽の場合は別途200円が必要
70歳以上は無料

定員

（保険証等、証明できるもの必要）

A (4) 午前 }
B (5) 午後 } ともに 20名
C (6) 午前 }

A (4) 午前 }
B (5) 午後 } ともに 8,000円
C (6) 午前 }



責任講師

A B：松谷 茂（府立植物園名誉園長・京都府立大学客員教授）
C：青木 籌子（あおきかずこ）他（植物園ガイド）

日程

全6回 第2金曜日（雨天決行）
A(4)・C(6) 10:00～11:45、B(5) 13:30～15:15

受講申込

A・B・C複数の申込はできません。

（日程等は一部変更になる場合があります）

①	春の息吹満喫 いたるところに、花・花・花。サクラも多種多様。花粉を気にしながらも、楽しく歩きましょう。	2022年 4/8（金）
②	梅雨空なんのその 雨は植物にとって命の水。タイサンボクも梅雨時の花木です。花を見て生き抜く戦略を学び、芳香に酔いしれましょう。葉の色は？	6/10（金）
③	夏空続く、がしかし、秋の花も ワレモコウ、フジバカマ、オミナエシ、ウコンの花てどなん？	9/9（金）
④	短日植物真っ盛り 秋の花、サルビア・コスモス・フウセントウワタ……	10/14（金）
⑤	錦秋の秋、一步手前 単純に紅葉・黄葉とは言い切れない奥深い色づきの妙。	11/11（金）
⑥	厳寒期、落葉樹の生き抜く戦略は さまざまな冬越し戦略は多種多様。カメなのにウサギとはこれ如何に！	2023年 2/10（金）